

JAAF
SAPPORO

一般財団法人札幌陸上競技協会



札幌陸協情報

発行：一般財団法人札幌陸上競技協会広報委員会

令和2年12月18日発行

2020年度を振り返って

～ コロナ禍の大会を経験して ～

会長 志田 幸雄

この度の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）でお亡くなりになられた方々に対しまして、心よりご冥福をお祈りするとともに、影響を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

令和2年のシーズンは、新型コロナウイルス感染症の出現、そしてパンデミックが起こり、これまで誰もを経験したことがない未曾有の事態をもたらしました。

本協会では、このような情勢のもと、日本陸連等の協力要請から、6月末日までの競技日程をすべて中止し、協会活動を休止する状況となりました。その結果、当協会主催・主管の29大会、学連協力大会の7大会のうち、19大会が中止、4大会が延期となりました。

大会は、7月23日の高体連春季大会から再開しました。大会再開に当たり、日本陸上競技連盟「陸上競技活動再開についてのガイダンス」より、当協会においても「競技会再開に向けた申し合わせ事項」を作成したうえで、①体調管理表の提出、②練習競技以外の選手マスク着用、③競技種目制限 ④ソーシャルディスタンス、⑤原則無観客試合、⑥審判員のマスク着用、⑦大会器具の消毒、⑧換気の徹底、⑨手指消毒、⑩新型コロナウイルス感染症対策室設置等を実施し、感染予防に万全を尽くしました。大会再開後に予定どおり大会が開催できたことに対し、関係者のご尽力に感謝申し上げます。

今年度は、全国規模の大会は多くが中止となり、練習・調整には難しい状況にある中、当協会所属の選手は、昨年度と同様の活躍をみせました。日本選手権では、男子1名（城山正太郎）・女子3名（石堂陽奈・宮園彩恵・京谷萌子）の選手が入賞することが出来ました。

高校総体（インターハイ）、全中が中止となり、多くの選手が落胆した状況にありましたが、このような時こそ、日々の中で、心・技・体を鍛え、今の難局を乗り越えていただきたいと思えます。

2021年は、延期された東京オリンピックが開催されます。来年に向けて、再び「札幌からオリンピック選手を」の目標達成の為に指導者の皆様の一層の努力、指導技術の向上、登録審判員の皆様へは審判技術の研鑽をお願いし、札幌で開催されます「東京オリンピックのマラソン・競歩」が成功裏に終われるようご協力をお願い致します。

また、今年度は札幌陸上競技協会90周年を迎えました。先人の方々が築き上げて来た方々に感謝し、記念式典、記念誌発行を計画していましたが、来年に延期することになりました。当協会が次の100年を迎えるステージに向けて、引き続き変わらぬご支援ご協力をお願い致します。

2020年度を振り返って

専務理事 金子博之

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、多くの大会が中止又は延期になるなか、競技者の皆様、札幌陸協会員の皆様、後援・協賛頂きました企業・団体のご協力に心より感謝いたします。

【財務状況】

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、多くの大会が中止となり、大会参加費及び補助金・助成金の収入が例年に比べ1,000万円を超える減収が見込まれたため、大会運営経費・強化費等の事業費や管理費の支出減に努めていますが、財務的に厳しい状況が続いています。

この財務ひっ迫の状況から会員・企業の皆様に臨時寄附金をお願いしたところ、会員・企業あわせて約43万円のご協力をいただきました。誠にありがとうございます。

【各大会開催事業】

今年度は札幌陸協主催・主管29大会、学連審判協力大会7大会のうち19大会が中止、4大会が延期となりました。

緊急事態宣言が終了し、日本陸上競技連盟「陸上競技活動再開についてのガイダンス」本協会「競技会再開に向けた申し合わせ事項」等に基づき感染拡大防止の対策をとりながら、2020年7月23日の高校春季大会（5月から延期）から大会を再開し、10月末のちびっこ駅伝（厚別競技場及び周辺）まで再中止することなく終了することができました。

また、コロナ禍で、より重要性を増した医務員について、今年度も我汝会きたひろしま整形外科病院の原先生のご協力を得て、医師・看護師を派遣して頂きました。誠にありがとうございます。

【大会結果と強化事業】

今シーズンは夏のインターハイ・全国中学や国体等多くの全国大会、ほとんどの全道大会が中止となりましたが、選手は各チーム指導者の指導のもと、新たな目標を定め、限られた練習・競技環境のなかで、最大限のパフォーマンスを見せてくれました。

そして、2020年10月に行われた全国高校（インターハイ代替大会として実施）では、走幅跳で松田奈夏選手（立命館慶祥高）の2位（道高校新）をはじめ複数の選手・チームが入賞をする活躍がありました。また、日本選手権等全国規模の大会で多くの選手が入賞を果たしました。

強化事業では、本協会創立90周年記念事業の一つとして2020年1月に本協会ですべてとなる海外合宿をシンガポールで行い、大きな成果をあげることができました。

しかし、春の道内合宿や強化練習会はコロナ禍の影響で中止となりました。また、財務状況悪化のため、秋以降の強化事業も縮小せざるを得なくなりました。

【選手強化育成基金】

2017年度から始まり今年度最終年度となる「選手強化育成基金」は、ご協力企業や本協会会員の皆様のご協力を得て、今年度74万円の基金増資を行うことができました。（2020年1月1日～12月15日）誠にありがとうございます。

【競技場整備】

厚別競技場では、延期されていた競技場1種検定が2020年7月11日に終了しました。また、今回の検定に関わって多くの競技場備品・機器が更新され、6月に更新備品・機器使用についての研修会を実施しました。

来年度は、円山競技場の競技場2種検定（11月）の関係で改修工事が4月から検定終了まで予定されており、使用できる競技場は厚別競技場のみとなります。また、厚別競技場は7月上旬から約1ヶ月間、延期された東京オリンピック サッカーの参加国の練習会場として使用されることになっています。

【創立90周年事業】

記念式典については、2020年12月に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況から2021年11月28日（日）に延期することとしました。記念誌については、2021年度中の発行に向けて、編集方針等を再確認しました。

【東京オリンピック関係】

延期された東京オリンピック マラソン・競歩の開催に向けて、大会組織委員会からのコラボレーター（運営協力ボランティア～資格2021年8月8日時点65歳未満等）の派遣協力要請を受け、ボランティア協力依頼及び登録等を行いました。また、マラソンテストイベントが2021年5月5日に開催されることが決定したことに伴い、同実行委員会のメンバーの一員として開催に向けた準備を進めていきます。

今後、コロナ禍における本協会の事業の在り方等の検討を加えながら、2021年度の事業を進めていきます。何卒、よろしくお願い致します。

記録室 全国大会入賞者



■第104回日本選手権 (新潟・デンカビックワン
10/1~10/3)

- 男子走幅跳 第7位 7m63(+0.3)
城山正太郎 (ゼンリン)
- 女子100m 第7位 11.81(+0.5)
石堂 陽奈 (立命館慶祥高)
- 女子200m 第7位 24.29(-0.1)
宮園 彩恵 (国士舘大)
- 女子走高跳 第6位 1m70
京谷 萌子 (北海道ハイテクAC)

■第89回日本学生対抗選手権
(新潟・デンカビックワン 9/11~9/13)

- 女子200m 第6位 24.88(-0.2)
宮園 彩恵 (国士舘大4)

■第68回全日本実業団対抗選手権
(埼玉・熊谷 9/18~9/20)

- 男子走幅跳 第3位 7m61(+2.1)
城山正太郎 (ゼンリン)

■2020全国高等学校リモート選手権

- 男子200m 第3位 21.22(+2.0)
井澤 真 (立命館慶祥3)
- 女子100m 第6位 11.94(+2.0)
石堂 陽奈 (立命館慶祥3)
- 女子100mH 第8位 14.28(+0.7)
中山 璃子 (恵庭北3)

■全国中学生大会2020
(神奈川・日産スタジアム 10/16~10/18)

- 男子800m 第4位 1.59.23
宮澤 朝凪 (TONDEN・RC3)

■全国高等学校大会リレー競技
(神奈川・日産スタジアム 10/16~10/18)

- 女子4×100mR
立命館慶祥 第8位 47.17
橋本 優那(2)
水口 爽(2)
石堂 陽奈(3)
松田 奈夏(3)

■全国高等学校大会2020
(広島・広島広域公園 10/23~10/25)

- 男子100m 第4位 10.61(+0.6)
鷹 祥永 (立命館慶祥3)
- 女子100m 第3位 11.79(+2.0)
石堂 陽奈 (立命館慶祥3)
- 女子走幅跳 第2位 6m11(+1.0)
松田 奈夏 (立命館慶祥3)

■U20全国陸上競技大会
(広島・広島広域公園 10/23~10/25)

- 男子400mH 第4位 56.84
水口 海 (法政大1)

東京オリンピックテスト大会 北海道・札幌マラソンフェスティバル2021開催

2020年東京五輪マラソン・競歩は、来年に延期されましたが、このほど大会組織委員会と北海道・札幌市の実務者会議より、テスト大会の開催について発表された。

内容は以下のとおりとなる。

【札幌チャレンジハーフマラソン2021】日本陸連公認のハーフマラソンコース

- ・大通公園西4丁目（北大通）スタート～オリンピックコース中間地点フィニッシュ
- ・エントリーランナー参加を想定

【札幌チャレンジ10k2021】日本陸連公認予定の10kmコース

- ・大通公園西4丁目（南大通）スタート～駅前通フィニッシュ
- ・一般市民の参加を想定

【スポーツ報知記事 2020年12月12日】

東京五輪マラソン、5月5日に札幌テスト大会…コース微調整し陸連から公認

東京五輪マラソン・競歩の実務者会議が11日、札幌市内で行われた。両競技のコースを微調整した形で世界陸連から公認され、マラソンはテスト大会として2021年5月5日に「北海道・札幌マラソンフェスティバル2021」を開催することなどを発表した。

10月に計測したコースについては大幅変更はなし。マラソンは大通公園をスタートし、札幌市内を約20キロ走ったあと、1周目の北半分を2周する変則的なものだったが、スタート場所を46・67メートルずらすなどの措置を取った。競歩は一部折り返し地点の半径を4メートルから8メートルに変更し、大回りする形となっている。

来年実施のマラソンテスト大会については、エリートランナー男女各80人によるハーフマラソンのほか、市民ランナー約2500人による10キロレースも開催する予定。ハーフマラソンを実施することでコースをほぼ網羅できるため、フルは行わない。10キロレースは新型コロナウイルスの感染状況を考慮しながら、道内からの参加のみとするなどの判断も視野に入れて、来年2月頃から募集を開始する予定。組織委の森泰夫運営局次長は「去年の10月に決まり、色々なところに無理をお願いして準備してきた。今回の決定は大きな進歩」と話した。

◆東京五輪マラソン・競歩の札幌移転経過

- ▼19年9月15日 当初の五輪コースで行われた代表選考会MGC（マラソングランドチャンピオンシップ）で日本代表男女各2人が内定。
- ▼同年10月16日 IOCが札幌開催に変更する案の検討に入ったと発表。
- ▼同年10月17日 IOCのバッハ会長が「理事会と大会組織委員会は札幌に移すことに決めた」と発言。
- ▼同年11月1日 IOC調整委員会で札幌開催が決定。
- ▼同年11月18日 実務者会議でコースは大通公園発着が決まる。
- ▼20年7月17日 21年8月8日の最終日に男子マラソンが実施されるなど、新競技日程が発表される。
- ▼同年10月10日 世界陸連などがマラソンコースを計測。翌日には競歩も。
- ▼同年11月11日 世界陸連から両コースが認定される。

(<https://hochi.news/articles/20201211-OHT1T50335.html>より)

発行 一般財団法人札幌陸上競技協会
広 報 委 員 会

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1番5号
札幌市中島体育センター内
電話・FAX : (011)532-2471
<http://jaaf-sapporo.jp/>
